

## 提言書

福井県民による幸福実感社会の実現と発展のために

令和6年12月

福井経済同友会

## はじめに

現在、福井県が抱える課題のうち、人口減少は最重要課題の一つです。昨年4月に開催した第36回全国経済同友会セミナー福井大会においても人口減少問題をメインテーマとして取りあげ、その対策として地方創生と大都市集中の緩和、すなわち福井県や我々企業の魅力を高めることの必要性が確認されました。

そこで、私共企業経営者はウェルビーイング経営に務め、やりがいのある職場を提供し、創造性や生産性を高めることによって、豊かな生活を実現すべきであると認識しました。

更には、ウェルビーイング社会の実現を推進し、県民の主観的な幸福実感を高め、ひいては人口流出やU・Iターンなどの流入人口増加に繋がるような施策として「福井県民による幸福実感社会の実現と発展のために、産学官民が連携・協力して参画できる仕組みづくり」を下記のとおり提言します。

### 提言 1.

福井県民の幸福度実感向上に関わる情報交換・協同企画運営を促進するために、自治体・教育機関・民間団体等が一堂に会する「**福井しあわせ推進会議（仮称）**」の設置を提案します。

### 提言 2.

福井県民が「自分自身のしあわせ」を考える機会を増やし、また福井県民の主観的幸福感に寄与する情報を得るための「**福井しあわせ実感アンケート調査（仮称）**」の実施を提案します。

## 福井県における「しあわせ・ウェルビーイング」をとりまく環境

福井県は、「全47都道府県幸福度ランキング」（一般財団法人日本総合研究所編）2014年版、2016年版、2018年版、2020年版、2022年版に続き、2024年版においても総合1位となりました。これで12年連続の「幸福度日本一」となり、いまや「幸福度」はわが県が誇る最大の特長です。

福井県には、繊維・眼鏡などのものづくり産業を中心に安定した雇用環境があり、失業率が低く、働く女性や高齢者の割合が高いです。また、子どもたちは家族や地域に見守られながら安心して勉強や運動に打ち込める環境があり、学力・体力の高さにつながっています。こうした環境で育った優秀な人材がまた福井県を支えるという好循環が、「幸福度日本一ふくい」の基盤になっています。

## 行政によるリーダーシップ

福井県庁でもこれを応援すべく、適切な価格転嫁や継続的な賃上げについての気運を醸成するとともに、経営者や働き手のスキルアップ、女性活躍など多様な働き方を推進し、地域経済の持続的発展を通じ、県民の経済的豊かさを高めながら日本一の「幸せ実感社会」を実現するため、令和5年9月4日、杉本福井県知事の呼びかけによって県内11団体による「幸せ実感(ウェルビーイング)社会の実現に向けた共同宣言」が発出されました。

### 【参加団体】

福井県商工会議所連合会、福井県商工会連合会、福井県中小企業団体中央会、福井経済同友会、福井県経営者協会、福井県銀行協会、福井県信用金庫協会、日本労働組合総連合会福井県連合会、経済産業省近畿経済産業局、厚生労働省福井労働局、福井県 計11団体

### 【実施内容】

- (1) 適切な価格転嫁および賃上げに向けた気運醸成・経営環境の整備
  - ア 価格転嫁、賃上げおよび最低賃金引上げへの対応に関する支援策や各種情報等の共有と企業への周知
  - イ パートナーシップ構築宣言の普及拡大
  - ウ 企業の付加価値や生産性向上につながる取組みの促進
  - エ 企業からの価格転嫁、賃上げおよび最低賃金引上げへの対応に関する相談
- (2) 幸せ実感（ウェルビーイング）経営およびスキルアップの推進
  - ア 幸せ実感（ウェルビーイング）経営の推進および普及啓発
  - イ 経営者や働き手のスキルアップに関する支援策、各種情報等の共有と発信
  - ウ スキルアップに関する相談への対応
- (3) 男性の育児休業の取得促進や女性活躍推進等、多様な働き方の推進
  - ア 男性の育児休業の取得促進や女性活躍等の推進を企業に積極的に働きかけ
  - イ 男性の育児休業の取得促進や女性活躍等の推進に関する支援策、各種情報等の共有と企業への周知
  - ウ 国のくるみん、えるぼし等や県の社員ファースト企業、ふく育応援団「従業員応援企業」、ふくい女性活躍推進企業の認定・登録制度の普及拡大

これに先立ち、これらの計画を支援するための担当部署及び担当者として福井県未来創造部 幸福実感ディレクターが置かれ、以降、福井県庁各部署におけるウェルビーイング関連の取り組みが展開されています。

(活動実績については後掲)

## 主観的な幸福感の大切さ

一方、研究論文「ウェルビーイングの視点からの福井県の地域づくりの課題と可能性—福井県県民アンケートの調査結果からの考察—」(2023年、高野翔准教授、福井県立大学地域経済研究所、『ふくい地域経済研究』Vol. 36.) によれば、前述の「全47都道府県幸福度ランキング」では、「仕事」分野において福井県は6回連続の全国1位。雇用領域における客観指標である若者完全失業率・正規雇用者率・高齢者有業率・インターンシップ実施率・大卒者進路未定者率は、軒並み全国トップクラスであり、この点から課題点は見られません。

しかし、主観的ウェルビーイングの視点から調査すると、“魅力的な職場”であるか、“チャレンジできる環境”であるかなどの職場環境の質的な状況に対しては、必ずしも県民の満足感が高くない現状が見えています。

さらに世界の幸福度に関する潮流を捉えると、人々の幸福・幸せへのアプローチのメインストリームは、主観的ウェルビーイングの測定にあります。昨今、様々な国際機関・国・地域にてその実践が見られ、例えば、国連の The Sustainable Development Solutions Network は、世界140ヶ国以上を対象にし、人々の主観的ウェルビーイングを測定。国レベルとしては、ブータン王国の GNH 政策が有名であり、近年では、ニュージーランド、アイスランド、スコットランドなどウェルビーイングを国家運営の中心概念として据える国々が増える傾向にあります。

また日本の公共政策の現場においても、2021年に政府の重要方針に記載され、ウェルビーイングの視点を重要視する動きが高まっています。このように人々の幸せや地域の豊かさの状況を、社会基盤に関する客観データばかりでなく、個々人の主観的 ウェルビーイングの測定を通じ見える化し、その結果を公共政策に活用していくことが求められているのです。

以上のことから、次に挙げる事業の開始を提案します。

## 提言 1. 「福井しあわせ推進会議（仮称）」の設置

現在、福井県における県民の幸福実感向上のための施策は、前述の「幸せ実感(ウェルビーイング)社会の実現に向けた共同宣言」を契機として福井県未来創造部 幸福実感ディレクターをはじめ各部局ごとに取り組みられています。

他方、学術・教育分野では福井県立大学地域経済研究所高野翔准教授を中心に研究や街づくり活動が進められており、経済界では福井経済同友会がウェルビーイング経営の普及に努めています。

これら個別の活動及び運営母体が一同に集い、意見交換や共同企画に励み、あらゆる分野で福井県民の幸福度実感向上の取り組みを計画的かつ戦略的に展開するために、産学官民連携の組織「福井しあわせ推進会議（仮称）」の設置を求めます。

### 【参加者】

福井県 : 未来創造部、健康福祉部、産業労働部、交流文化部、教育庁など  
市町 : 福井市、越前市、小浜市、あわら市、坂井市、永平寺町、池田町、高浜町など

教育機関 : 福井県立大学、福井大学、仁愛女子大学、福井工業大学、慶應義塾、京都先端科学 など

有識者 : 地域おこし協力隊、一般社団法人 PLAY CITY など

企業団体 : 福井経済同友会、連合福井、福井商工会議所、武生商工会議所青年部 など

外部団体 : デロイトトーマツ、パーソル、エステー、フェムテック協会、JICA北陸 など

### 【活動内容】

定例会の開催

- 「しあわせ・ウェルビーイング」をテーマにした福井県内の取組の企画立案
- 各種取り組みのスケジュールを共有し、対象者への周知と参加者の確保に協力
- 場所、ヒト、モノ、講師や教材、新しいテーマを共有・提供するなど、各種取り組みの運営に協力
- 「福井しあわせ実感アンケート（仮称）」の運営と結果報告
- 助成金・寄付金の調達と活用
- 県内参加団体の募集、見学希望者と有識者・先駆者とのマッチングなど

## 提言 2. 「福井しあわせ実感アンケート（仮称）」の実施

福井県では、長期ビジョンや県の行う施策等について県民の意見を継続的に把握し、政策の立案等に反映し、長期ビジョンが目指す将来像を実現するため、令和元年度より県民アンケートを実施しています。またアンケートの調査結果は福井県ホームページなどで公表しています。

### 【令和 6 年度 県民アンケート調査】

- ・調査対象 県内に居住する満 18 歳以上の 3, 184 人  
(住民基本台帳から年代別に無作為抽出)
- ・調査手法 郵送および WEB
- ・調査期間 令和 6 年 7 月 5 日～7 月 26 日
- ・回答者数 1, 710 人 (回答率: 53.7%)

福井県民の主観的幸福度を高めるためには、第一に福井県民が「自分自身のしあわせ」に興味をもち、考えてもらうことが必要です。次に福井県民の主観的幸福度を測定し、その増減に影響を与える要因を見出すこと、そして得られた情報を施策や各団体の取り組みに反映する仕組みが必要です。

そこで現在の「県民アンケート調査」に「主観的幸福度」に関わる設問を追加し、「福井しあわせ実感アンケート（仮称）」として毎年実施することを提案します。

「福井しあわせ実感アンケート（仮称）」の設問内容検討、対象者の選定（子ども、中高生、ひとり親、ひとり親の子、20-30代女性、貧困家庭、独居高齢者など）、調査方法（従来の郵送方式、WEB方式、訪問調査など）、調査票の配布と回収方法、分析、福井県民への発表方法などは、提言 1 「福井しあわせ推進会議（仮称）」及び参加団体が担当します。

以上

## ＜福井県庁各部局におけるウェルビーイング関連の取組活動実績＞

### 令和5年

- 8月28日 慶應義塾大学医学部と「幸せ実感・ウェルビーイング」政策推進に関する連携協定
- 9月4日 幸せ実感(ウェルビーイング)社会の実現に向けた共同宣言
- 11月13日 デジタル地域通貨「ふくい はぴコイン」健康ポイント実証事業
- 11月27日 令和5年度県民アンケートの調査結果(ウェルビーイング等を含む)公表
- 12月18日 ウェルビーイング塾(実践講座)

### 令和6年

- 3月21日 「ウェルビーイング×DXでつくる福井の未来」セミナー
- 4月8日 デロイトトーマツコンサルティング合同会社と日本一の「幸せ実感社会」実現に向けた連携協定
- 4月26日 県民のウェルビーイング実現を位置付けた「文化振興プラン」策定
- 5月8日 ウェルビーイング経営導入が対象となる「社員ファースト企業補助金」受付開始
- 7月12日 多様性を活かし一人ひとりの幸せ実感につなげるダイバーシティワークショップ開催
- 8月22日 早稲田大学政治経済学部とのウェルビーイング政策づくり実証事業開始
- 8月24日 ウェルビーイングをテーマにした全国高校生プレゼン甲子園
- 9月1日 楽しく歩いて健康に「はぴウォーク2024」開催
- 10月4日 日経 Well-being シンポジウムで鷺頭副知事がウェルビーイング視点で女性活躍を議論
- 10月8日 福井県ウェルビーイングコーディネーター(地域おこし協力隊)委嘱
- 11月6日 幸せになる旅を理念に掲げた新しい観光ビジョンの骨子案提示

## ＜福井経済同友会 ウェルビーイング社会を考える委員会 活動＞

### 第1回運営委員会

日 時 2023年6月7日（水）  
会 場 福井経済同友会事務局  
議 題 委員会活動の方針について  
参加者 8名

### 第1回企画委員会

日 時 2023年8月7日（月）  
会 場 ハピリン福福館  
議 題 過去2年間の活動振り返りと今後の活動方針について  
参加者 23名

### しあわせ実現（ウェルビーイング）社会実現に向けた共同宣言式

日 時 2023年9月4日（月）  
会 場 福井県庁  
参加者 2名

### 第2回企画委員会

日 時 2023年10月5日（木）  
会 場 福井フェニックスホテル  
議 題 活動計画の策定  
参加者 22名

### ふくいNEW経済ビジョン推進セミナー参加

日 時 2023年10月31日（火）  
会 場 福井県国際交流会館  
内 容 前野隆司慶應義塾大学教授の講演  
参加者 10名

### ウェルビーイングセミナー主催

日 時 2023年12月5日（火）  
会 場 福井銀行本店ホール  
内 容 前野隆司慶應義塾大学教授の講演と座談会  
参加者 40名

### 第3回企画委員会

日 時 2023年12月11日（月）  
会 場 福井県織協ビル  
議 題 ハーバードビジネスレビュー「職場の孤独への対処法」について  
参加者 18名

### 第4回企画委員会

日 時 2024年2月14日（水）  
会 場 福井県織協ビル  
議 題 ウェルビーイング診断について  
参加者 17名

### 第5回企画委員会

日 時 2024年6月12日（水）  
会 場 福井県織協ビル  
議 題 矢野和男氏著書「予測不能の時代」の研究  
参加者 15名

### 土佐経済同友会 GKH 委員会訪問

日 時 2024年7月18日（木）  
参加者 2名

### 第6回企画委員会

日 時 2024年8月19日（月）  
会 場 福井県織協ビル  
議 題 八木仁平氏著書、「世界一やさしい「やりたいこと」の  
見つけ方」について  
参加者 23名

### 土佐経済同友会 GKH 委員会訪問

日 時 2024年9月19日（木）  
会 場 高知市川村ビル会議室  
議 題 土佐経済同友会 GKH 委員会アンケートについて  
参加者 4名

### 第7回企画委員会

日 時 2024年10月25日（金）  
会 場 福井県織協ビル  
議 題 「こんな会社で働きたい ウェルビーングな働き方を  
実現する健康経営企業編」について  
参加者 17名

### 第2回運営委員会

日 時 2024年10月24日（木）  
会 場 福井経済同友会事務局  
議 題 提言書の概要について  
参加者 3名

### 第3回運営委員会

日 時 2024年11月15日（金）  
会 場 福井経済同友会事務局  
議 題 提言（修正）内容について  
参加者 3名

＜福井経済同友会 ウェルビーイング社会を考える委員会＞

副代表幹事

	小林 秀夫	第一ビニール株式会社	代表取締役社長
委員長	林 讓也	医療法人厚生会 福井厚生病院	理事長
副委員長	山口 賢司	株式会社グランディア芳泉	代表取締役専務
企画幹事			

	生田健太郎	損害保険ジャパン株式会社	福井支店長
	石井 秀史	株式会社みずほ銀行 福井支店	支店長
	石橋 智洋	アロック・サンワ株式会社	代表取締役社長
	岩崎 聡	株式会社ウォンツ	相談役
	大壁 勝洋	OOKABE GLASS 株式会社	代表取締役 CEO
	大久保 尚	富士通 Japan 株式会社	北陸支社長
	奥出 利行	FTEC 株式会社	代表取締役社長
	河合 洋典	カワイ株式会社	代表取締役社長
	木村 雅彦	株式会社北陸日立	代表取締役社長
	久保田百代	久保田電機株式会社	代表取締役社長
	黒川 俊之	株式会社黒川クリーニング社	代表取締役社長
	黒須 建幸	三井住友信託銀行株式会社福井支店	支店長
	光照 良眞	福井ひかり法律事務所	経営弁護士
	佐竹 新	オリックス株式会社	福井支店長
	白崎 智之	株式会社白崎コーポレーション	代表取締役社長
	関根 信吾	野村証券株式会社 福井法人部	担当部長
	田中 陽介	株式会社タッセイ	代表取締役社長
	谷尾 準一	タニオ保険株式会社	代表取締役社長
	土谷 秀靖	株式会社マルツホールディングス	代表取締役社長
	寺尾 忍	テラオライテック株式会社	代表取締役会長
	中田 善弘	株式会社キャリアプラス	代表取締役
	中山 浩行	株式会社ナカテック	代表取締役社長
	西川 大介	株式会社西川建築設計事務所	代表取締役
	灰谷 佳洋	株式会社三星	代表取締役社長
	長谷川英一	株式会社福井銀行	取締役兼代表執行役頭取
	畑田 裕也	株式会社商工組合中央金庫福井支店	支店長
	平田 制	住友生命保険相互会社 福井支社	支社長
	福野 泰介	株式会社 jig. jp	取締役 創業者
	古川 利正	富士フイルム BI 福井株式会社	代表取締役社長

	堀 謙	福井エフエム放送株式会社	代表取締役社長
	三谷 聡	三谷商事株式会社	代表取締役社長
	宮本 泰成	北陸電気工事株式会社	執行役員福井支店長
	安崎 昌治	株式会社ヤスサキ	代表取締役社長
	山本庸一郎	カラヤ株式会社	代表取締役社長
	湯浅 徹	株式会社福邦銀行	代表取締役頭取
	横井 真澄	社会保険労務士法人リヴル総研	代表社員
特別幹事	玉木 洋	福井キャノン事務機株式会社	代表取締役会長
事務局	東山 清和	福井経済同友会	専務理事事務局長
	三田村 琢哉	福井経済同友会	事務局次長